(19)日本国特許庁(JP)　(12)公開特許公報(A)　(11)特許出願公開番号
特開2004-337573
(P2004-337573A)
(43)公開日　平成16年12月2日(2004.12.2)

(51)Int.Cl.[7]	F I	テーマコード（参考）
A44C 23/00	A44C 23/00	3B114

審査請求 未請求　請求項の数 10　ＯＬ　（全 13 頁）

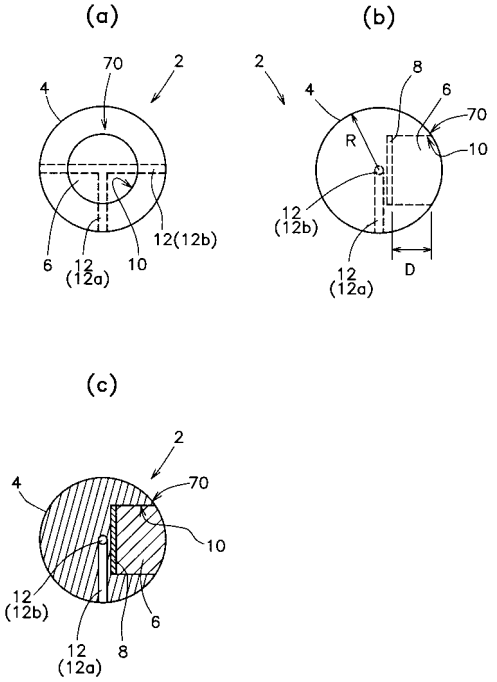
(21)出願番号　特願2003-200874(P2003-200874)
(22)出願日　平成15年7月24日(2003.7.24)
(31)優先権主張番号　特願2003-76858(P2003-76858)
(32)優先日　平成15年3月20日(2003.3.20)
(33)優先権主張国　日本国(JP)

(71)出願人　597074181
株式会社　カワサキ
滋賀県近江八幡市中村町６９０番地
(74)代理人　100094248
弁理士　楠本　高義
(72)発明者　川崎　正雄
滋賀県近江八幡市中村町６９０番地　株式会社カワサキ内

Ｆターム(参考)　3B114 AA01 AA11 AA14 AA16 AA21 BE05 CC26 FA13

(54)【発明の名称】数珠玉様塊状物及び数珠

(57)【要約】
【課題】宗教的な表示層を内蔵し、その表示層の表示面を透明体越しに宗教的な奥床しい雰囲気を有する像として観視可能になした数珠玉を提供しようとする。かつその表示層が交換可能とされた数珠玉を提供しようとする。
【解決手段】複数の、連結紐用孔を有する小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いるものであって、曲面部を有する基体と、凸の曲面状の一の端面とを有するレンズ体と、形象が表示された表示層とを含んで構成され、該曲面部に円筒状の有底孔が形成され、該表示層が該有底孔の底部に設けられ、該表示層と該レンズ体の他の端面が相対する状態で該有底孔に該レンズ体が嵌入され、前記曲面部の曲率半径をＲとし、前記一の端面の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、前記有底孔の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、前記レンズ体の径をｄとしたとき、０．８≦ｄ／Ｒ≦１．６であり、前記表示層に記録された形象が前記レンズ体を介して観視可能とされた数珠玉様塊状物である。



【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数の、連結紐用孔を有する小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いるものであって、曲面部を有する基体と、凸の曲面状の一の端面とを有するレンズ体と、形象が表示された表示層とを含んで構成され、該曲面部に円筒状の有底孔が形成され、該表示層が該有底孔の底部に設けられ、該表示層と該レンズ体の他の端面が相対する状態で該有底孔に該レンズ体が嵌入され、前記曲面部の曲率半径をＲとし、前記一の端面の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、前記有底孔の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、前記レンズ体の径をｄとしたとき、０．８≦ｄ／Ｒ≦１．６であり、前記表示層に記録された形象が前記レンズ体を介して観視可能とされた数珠玉様塊状物。
【請求項２】
複数の、連結紐用孔を有する小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いるものであって、曲面部を有する基体と、凸の曲面状の一の端面とを有するレンズ体と、形象が表示された表示層とを含んで構成され、前記曲面部に円筒状の有底孔が形成され、該表示層が該有底孔の底部に設けられ、該表示層と該レンズ体の他の端面が空間を間に相対する状態で該有底孔に該レンズ体が嵌入され、前記表示層に記録された形象が前記レンズ体を介して観視可能とされた数珠玉様塊状物。
【請求項３】
前記曲面部の曲率半径をＲとし、前記一の端面の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、前記有底孔の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、前記有底孔の径をｄＥとしたとき、０．８≦ｄＥ／Ｒ≦１．６である請求項２に記載の数珠玉様塊状物。
【請求項４】
前記基体が球体状である請求項１乃至３のいずれかに記載の数珠玉様塊状物。
【請求項５】
前記レンズ体が円柱周面状の周面を有する請求項１乃至４のいずれかに記載の数珠玉様塊状物。
【請求項６】
請求項１乃至５のいずれかに記載の数珠玉様塊状物が親珠である数珠。
【請求項７】
請求項１乃至５のいずれかに記載の数珠玉様塊状物が子珠群の少なくとも一部を構成する数珠。
【請求項８】
前記子珠群の少なくとも一部を構成する複数の前記数珠玉様塊状物が、それぞれ異なる前記形象を表示する前記表示層を備える請求項７に記載の数珠。
【請求項９】
請求項１乃至５のいずれかに記載の前記数珠玉様塊状物に用いられる前記表示層の製造方法であって、
１のプリント用台紙と、
プリンタと、
画像選択指令入力端末と、画像記憶装置と、該画像選択手段によりソフトウエアを介して選択された画像情報を前記プリンタに出力する出力端末と備えるコンピュータと
を準備する工程と、
前記画像記憶装置に前記表示層に表示されることとなる形象を表す画像の画像情報を記憶させる工程と、
記憶された前記画像情報のうちから、定められた１種又は複数種の画像情報を選択する指令を、前記画像選択指令入力端末から入力する工程と、
選択された前記画像情報を前記出力端末を介して前記プリンタに入力する工程と、
前記プリンタにより前記プリント用台紙に前記選択された画像情報に基づく画像をプリン

トする工程と、
前記プリント用台紙からプリントされた該画像を切り取って前記表示層となす工程と
を含む表示層の製造方法。
【請求項１０】
前記コンピュータが、前記１種又は複数種の画像情報を１組とする画像情報に基づく画像のプリントすべき組数を指定する組数指定用入力端末を備え、
該組数を該組数指定用入力端末に入力する工程と、
前記コンピュータのソフトウエアにより、該組数の該画像を前記プリンタにプリントさせる工程を含む請求項９に記載の表示層の製造方法。
【発明の詳細な説明】
【０００１】
【発明の属する技術分野】
本発明は、複数の有孔の小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いる数珠玉様塊状物、及び該数珠玉様塊状物を用いた数珠及びその数珠玉様塊状物に用いられる表示層の製法に関する。
【０００２】
【従来の技術】
仏事などにおいて用いられる数珠１は、図１４に示すように、基本的には、少なくとも一つの親珠７および多数個の子珠３に芯糸９を挿通し、輪状に連結形成したものである。このような数珠に関しては、仏像や紋章等の形象の表示機能を数珠に与えたいとの願望がある。
【０００３】
これに対処するものとして、親珠に対して装飾表示シート層を内蔵し、その装飾表示シート層における装飾表示面を充填樹脂材層越しに拡大して外視可能になした親珠構造が開示されている（例えば、特許文献１参照）。しかし、充填樹脂材層は親珠に固着しており、装飾表示シート層を構成する装飾表示シートを別のものと簡単に交換することはできない。又、仏像等の宗教的意義をもつ装飾表示面を充填樹脂材層を介して覗いた場合、仏像等の像がレンズ効果で浮き上がって迫ってくるので宗教的な奥床しい雰囲気に欠けることがある。
【０００４】
又、身体に装着する飾りを構成する主装飾材を外部容器とレンズ体及び何れかの側に貼り付けた図形付き小板とで構成し、そのレンズ体を外部容器より硬めとし、両者の嵌合面に微小角度のテーパーを付けると共にレンズ体に小突起を設け、その小突起を抜け止めとして嵌合時の圧入により相手テーパー面に係止せしめ、外部容器の背面寄りに屈曲部分を持つ芯糸通し孔を開けた装飾材が開示されている（例えば、特許文献２参照）。この装飾材も図形付き小板に仏像などが描かれていれば数珠としての利用が可能であるが、レンズ体に設けられた小突起がその描かれた仏像の透視像をゆがめてしまう等の理由で、像の宗教的雰囲気を損なうことになる。
【０００５】
【特許文献１】
特開平１０－２８６１１０号公報（特許請求の範囲、第１図）
【特許文献２】
登録実用新案公報第３０６２５８３号（特許請求の範囲、第２図）
【０００６】
【発明が解決しようとする課題】
本発明は、これら問題点に鑑み、宗教的な表示層を内蔵し、その表示層の表示面を透明体越しに宗教的な奥床しい雰囲気を有する像として観視可能になした数珠玉様塊状物を提供しようとする。かつその表示層が交換可能とされた数珠玉様塊状物を提供しようとする。
【０００７】
【課題を解決するための手段】

本発明の要旨とするところは、複数の、連結紐用孔を有する小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いるものであって、曲面部を有する基体と、凸の曲面状の一の端面とを有するレンズ体と、形象が表示された表示層とを含んで構成され、該曲面部に円筒状の有底孔が形成され、該表示層が該有底孔の底部に設けられ、該表示層と該レンズ体の他の端面が相対する状態で該有底孔に該レンズ体が嵌入され、前記曲面部の曲率半径をＲとし、前記一の端面の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、前記有底孔の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、前記レンズ体の径をｄとしたとき、０．８≦ｄ／Ｒ≦１．６であり、前記表示層に記録された形象が前記レンズ体を介して観視可能とされた数珠玉様塊状物であることにある。

【０００８】

又、本発明の要旨とするところは、複数の、連結紐用孔を有する小塊が、該孔に挿通された紐を介して互いに連結されてなる連塊物に用いるものであって、曲面部を有する基体と、凸の曲面状の一の端面とを有するレンズ体と、形象が表示された表示層とを含んで構成され、前記曲面部に円筒状の有底孔が形成され、該表示層が該有底孔の底部に設けられ、該表示層と該レンズ体の他の端面が空間を間に相対する状態で該有底孔に該レンズ体が嵌入され、前記表示層に記録された形象が前記レンズ体を介して観視可能とされた数珠玉様塊状物であることにある。

【０００９】

前記数珠玉様塊状物においては、前記曲面部の曲率半径をＲとし、前記一の端面の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、前記有底孔の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、前記有底孔の径をｄＥとしたとき、０．８≦ｄＥ／Ｒ≦１．６であり得る。

【００１０】

前記基体は、球体状であり得る。

【００１１】

前記レンズ体は、円柱周面状の周面を有し得る。

【００１２】

更に、本発明の要旨とするところは、前記数珠玉様塊状物が親珠である数珠であることにある。

【００１３】

又更に、本発明の要旨とするところは、前記数珠玉様塊状物が子珠群の少なくとも一部を構成する数珠であることにある。

【００１４】

前記数珠においては、前記子珠群の少なくとも一部を構成する複数の前記数珠玉様塊状物が、それぞれ異なる前記形象を表示する前記表示層を備え得る。

【００１５】

又、本発明の要旨とするところは、前記数珠玉様塊状物に用いられる前記表示層の製造方法であって、

１のプリント用台紙と、

プリンタと、

画像選択指令入力端末と、画像記憶装置と、該画像選択手段によりソフトウエアを介して選択された画像情報を前記プリンタに出力する出力端末と備えるコンピュータと

を準備する工程と、

前記画像記憶装置に前記表示層に表示されることとなる形象を表す画像の画像情報を記憶させる工程と、

記憶された前記画像情報のうちから、定められた１種又は複数種の画像情報を選択する指令を、前記画像選択指令入力端末から入力する工程と、

選択された前記画像情報を前記出力端末を介して前記プリンタに入力する工程と、

前記プリンタにより前記プリント用台紙に前記選択された画像情報に基づく画像をプリン

トする工程と、
前記プリント用台紙からプリントされた該画像を切り取って前記表示層となす工程と
を含む表示層の製造方法であることにある。
【００１６】
前記表示層の製造方法においては、前記コンピュータが、前記１種又は複数種の画像情報を１組とする画像情報に基づく画像のプリントすべき組数を指定する組数指定用入力端末を備え、
該組数を該組数指定用入力端末に入力する工程と、
前記コンピュータのソフトウエアにより、該組数の該画像を前記プリンタにプリントさせる工程を含み得る。
【００１７】
【発明の実施の形態】
本発明に係る態様を図面に基づいて詳しく説明する。なお、本明細書においては、各図にわたって記される同じ符号は同一又は同様の部材やものを示す。図１は本発明の数珠玉様塊状物２の構成を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）、側面図（ｂ）に対応する断面図（ｃ）である。数珠玉様塊状物２は曲面部７０を有する球体をベースに穿孔及びなかぐりされた球体状の基体４と、円柱状のレンズ体６と、形象が表示された表示層８とを含んで構成される。基体４に円筒状の有底孔１０がなかぐり等により形成され、芯糸を通す分岐孔１２がドリル等により形成されている。分岐孔１２は、連結紐を通す連結紐用孔１２ｂと、連結紐用孔１２ｂから直角に分岐する分岐枝孔１２ａとから構成される。
【００１８】
図２にレンズ体６の形状を示す。レンズ体６は、一の端面１４に凸の曲面が形成され、他の端面１６は円柱軸と直交する平面となっている。図１に示す表示層８は、表示面を有底孔１０の開口に向けて、有底孔１０の底に載置されている。もしくは貼付されている。レンズ体６が、表示層８とレンズ体６の他の端面１６とが相対する状態で、有底孔１０に着脱可能に嵌入されている。この構成で、表示層８に記録された形象がレンズ体６を介して観視可能とされている。
【００１９】
図２に示すように、レンズ体６は円柱部１８と、一の面２２が平面の凸レンズ部２０とから構成され、円柱部１８の一端面と凸レンズ部２０の一の面２２とが一体に連接されてなる。即ち、レンズ体６は、円柱周面状の周面１３と、凸の曲面状の一の端面１４とを有する。凸レンズ部２０の他の面はレンズ体６の一の端面１４を構成する。
【００２０】
なお、レンズ体６の円柱部１８には、有底孔１０との嵌合状態を安定化するために軸方向に僅かのテーパーが付いていてもよい。有底孔１０もこの目的で軸方向に僅かのテーパーが付いていてもよい。この僅かのテーパーは本発明における視覚効果を妨げるものではなく、本発明においては、このようなテーパーが付いた円柱部１８や有底孔１０の形状もそれぞれ円柱状、円筒状と称する。
【００２１】
図３（ａ）、（ｂ）は、それぞれ本発明の他の態様における数珠玉様塊状物２ａ、２ｂの断面図である。数珠玉様塊状物２ａ、２ｂはそれぞれ高さの異なるレンズ体６ａ、６ｂを備える。
【００２２】
図３（ｃ）は、円柱部の高さＨが、有底孔１０の深さＤより小さいレンズ体６ｃが用いられた数珠玉様塊状物２ｃを示す。又、図３（ｃ）においては、有底孔１０に、レンズ体６ｃと表示層８とを間にして、空間部２９が形成されている。
図３（ｄ）は、有底孔１０ａに、レンズ体６ｄと表示層８とを間にして、空間部２９ａが形成され、かつ円筒状の有底孔１０ａの内面の軸方向中間部に段差１７が形成された態様を示す。段差１７は、有底孔１０ａの内面を開口に向けて拡大するように設けられている。段差１７にレンズ体６ｄの縁部を当接させてレンズ体６ｄを有底孔１０ａに嵌合させる

ことにより、空間部２９ａを確保しつつレンズ体６ｄを有底孔１０ａに確実に固定できる。段差１７のかわりに有底孔１０ａに内側に突出するフランジ状の突起が形成されて、その突起にレンズ体６ｄの縁部を当接させてもよい。

【００２３】

図３（ｅ）は、レンズ体６ｅの表示層８に面するがわの面１９も凸曲面である数珠玉様塊状物２ｅを示す。この場合は、視覚効果が更に強調される。

【００２４】

空間部（２９、２９ａ、２９ｂ）はその中に線香のかおり等の芳香を有する芳香剤の微粒を封じこめることができ、これにより、数珠玉様塊状物の価値を高め、数珠の宗教的価値を高めることが出来る。又、空間部にリング体を挿入し、そのリングの中空部を通して表示層８が観視されるようにして表示層８の形象の宗教的価値を高めることが出来る。空間部にはカラーフィルタや形象を更に拡大して見せるための第二のレンズが装着されてもよい。このように、空間部には形象の宗教的価値を高めるための物体を封入できる。更に、表示層８の表面に浮き彫り等の手段で立体的な形象が造形されている場合は、空間部を通して観視するほうが鮮明に形象を観視できる。

【００２５】

円柱部１８の径即ちレンズ体６の径が大きいと、表示層８に記録された形象をレンズ体６を介して観視したとき、形象が観視者がわに浮き出て見える。形象が仏や高僧の像や、由緒ある紋や、教義を表す文字等の宗教的なものである場合、この浮き出しは、神秘性、奥床しさを損ない好ましいものではない。本発明は、この点に鑑み、形象が有底孔１０の側面に包み込まれるように見え、形象が神秘性、奥床しさが感じられるように見える状態を作り出すものである。

【００２６】

この状態を作り出すためには、レンズ体６の寸法は、曲面部７０の曲率半径をＲとし、凸レンズ部２０の曲面の中央２４の曲率半径即ち一の端面１４の中央の曲率半径をｒとしたとき、０．７５Ｒ≦ｒ≦１．２５Ｒであり、有底孔１０の深さをＤとしたとき、０．８Ｒ≦Ｄ≦０．９５Ｒであり、円柱部１８の高さ、即ち周面１３の母線の長さ、をＨとしたとき、０．２Ｄ≦Ｈ≦１．２Ｄであり、円柱部１８の径をｄとしたとき、０．８≦ｄ／Ｒ≦１．６である。１．０≦ｄ／Ｒ≦１．３５であることが外観のバランスのうえで更に好ましい。又、０．２Ｄ≦Ｈ≦１．０Ｄであることが、レンズ体６が基体４から突出せず、数珠玉様塊状物２に触ったときに面が滑らかに感じられ更に好ましい。なお、Ｄは、有底孔１０の底面に貼付された表示層の表示面から有底孔１０の開口縁までの高さである。

【００２７】

又、有底孔１０の内部に空間２９（２９ａ、２９ｂ）がある図３（ｃ）、（ｄ）、（ｅ）のような態様においては、空間２９（２９ａ、２９ｂ）の部分の有底孔１０の径をｄＥとして、０．８≦ｄＥ／Ｒ≦１．６であることが好ましい。１．０≦ｄＥ／Ｒ≦１．３５であることが外観のバランスのうえで更に好ましい。

【００２８】

又、図３（ｃ）、（ｄ）、（ｅ）のような態様においては、表示層の表示面とレンズ体６ｃあるいはレンズ体６ｄ（６ｅ）との間隔（平均間隔）をＷとして、０．８Ｄ≦（Ｗ＋Ｈ）≦１．２Ｄであることが外観の美観のうえで好ましい。

【００２９】

Ｄがこの範囲であるときに、ｄがこの範囲をこえて大きくなると、前述の形象の浮き出しが顕著になる。ｄがこの範囲をこえて小さくなると、形象の見える視野が狭くなりすぎて形象がみえにくい。

【００３０】

Ｄがこの範囲であるときに、ｒがこの範囲をこえて大きくなると、形象の像を拡大するレンズ効果が不足し、形象が扁平に見えて貧相な印象を与える。ｒがこの範囲をこえて小さくなると、レンズ効果の歪が増大して良好な結像が難しくなる。

【００３１】

Ｄ、ｄがこの範囲であるときに、ｒがこの範囲であると、凸レンズ部２０の周縁部にわずかな球面収差が生じ、その結果として形象の像が、レンズ体６の中央部（軸心の周辺）に浮き出しかつ周縁部の球面収差の効果で像の周縁部が像の中央部を引き込むように歪んで、像がレンズ体６の周囲に抱かれたように見える。像の周縁部は歪んで茫洋としているので茫洋とした宗教的な空間がイメージされ、像が宗教的な空間に抱かれたように見える。レンズ体６の一の端面１４の曲面は、球面の一部を構成するような面であることが好ましいが、一の端面１４の周縁部の曲率が中央部の曲率と異なっていてもよい。一の端面１４の周縁部の曲率が中央部の曲率より大きいと周縁部の球面収差の効果で像の周縁部が像の中央部を引き込むように歪んで、像がレンズ体６の周囲に抱かれたように見える効果が高まる。

【００３２】

Ｄがこの範囲をこえて大きくなると分岐孔１２を基体４の中心を直線状に通過させることができなくなり、分岐孔１２をクの字形にまげる等の必要が生じ、芯糸を通す操作が複雑となり、好ましくない。Ｄがこの範囲をこえて小さくなると像がレンズ体６の周囲に抱かれたように見える効果が得られない。

【００３３】

基体４の形状は球体以外に、楕円を所定の軸のまわりに回転させたときの軌跡を面とする回転楕円体であってもよい。例えば、図４に示すように、連結紐を通す連結紐用孔１２ｂの延長方向を回転軸とし、かつ自身の長軸を回転軸とする回転楕円体形状の基体４－１であってもよい。あるいは、図５に示すように、連結紐用孔１２ｂの延長方向を回転軸とし、かつ自身の短軸を回転軸とする回転楕円体体形状の基体４－２であってもよい。又、図６に示すように、連結紐用孔１２ｂから直角に分岐する分岐枝孔１２ａの延長方向を回転軸とし、かつ自身の長軸を回転軸とする回転楕円体形状の基体４－３であってもよい。

【００３４】

基体４の形状は、楕円に限らずその他の閉曲線を所定の軸のまわりに回転させたときの軌跡を面とする閉曲面体であってもよい。例えば、図７に示すように、連結紐用孔１２ｂの延長方向を回転軸とし、かつ自身の短軸を回転軸とする円板形状の基体４－４であってもよい。あるいは、図８に示すように、変形した楕円を、連結紐用孔１２ｂの延長方向を回転軸とし、かつ自身の短軸を回転軸として回転させた軌跡形状の基体４－５であってもよい。

【００３５】

又、基体４の形状は、図９に示すように、球体が、表示層８の面と平行な平面で切断された欠球体の形状の基体４－６であってもよい。この場合は、数珠を構成している数珠玉様塊状物２ｆが人体の一部例えば手の一部と接したとき、数珠玉様塊状物２ｆが連結紐用孔１２ｂを軸として回転せず、その切断による切断面６０が手に接する状態が安定した状態であり、常に表示層８が人体の外側に向けられて目につきやすい配置が実現され好ましい。

【００３６】

基体４の形状は、閉曲線を所定の軸のまわりに回転させたときの軌跡を面とする閉曲面体に限らず、基体４にはめ込まれたレンズ６の露出したレンズ面とほぼなだらかに連なる形状の曲面部を有するものであればよい。例えば、全体として非対称な形状のものであってもよい。

【００３７】

又、レンズ６は、図１０に示すレンズ６ｘのように、光軸方向にみて非円形、例えば略正方形であってもよい。

【００３８】

なお、本明細書においては、曲面部の曲率半径は、有底孔１０（図１）のような基体に形成された有底孔に嵌入されたレンズ６やレンズ６ｘのようなレンズの周縁部近傍の基体の表面と、レンズの光軸及び連結紐用孔１２ｂの軸を含む平面との交わる、レンズを間にする２本の線の各曲率、及び、そのレンズの周縁部近傍の基体の面と、レンズの光軸を含み

連結紐用孔１２ｂの軸と直交する平面との交わる、レンズを間にする２本の線の各曲率、の平均値である。

【００３９】

基体４の素材としては、特に限定されない。例えば、木の実、木、竹、金属、石、宝石、真珠、樹脂、ガラス、セラミックス、これらの複合材などが用いられる。

【００４０】

レンズ体６の素材としては透明な材料であれば特に限定されない。又、レンズ体６は着色していてもよい。透明なガラス、セラミックス、樹脂などが用いられる。樹脂としては、アクリル系樹脂、ポリカーボネート系樹脂などが好適に用いられる。

【００４１】

表示層８としては記録媒体に形象が記録されたものであれば素材は特に問わない。記録媒体としては、紙、フィルム、皮、布、あるいはこれらをベースとするシート材が用いられる。形象の記録は、手書き、印刷、刻印、写真等による。

【００４２】

本発明においては、嵌合されたレンズ体６を抜き取り、表示層８を交換し、ふたたびレンズ体６を嵌入することにより、表示層８の交換が可能である。

【００４３】

多数の数珠玉様塊状物につき、それぞれに表示層８を準備する場合は、一枚の写真の台紙に多数の写真像を同時に焼き付けたのち、個々の写真像を切り取って表示層８とすることが能率的である。

【００４４】

更に、図１１に示すように、一枚のプリント用台紙４０に、多数のプリント像４２を同時にプリントしたのち、個々のプリント像４２を切り取って表示層とすることが能率的である。この操作は、コンピュータに記憶させた画像情報をもとに電子的な画像処理操作を行って、電子的に制御されるプリンタに、一枚のプリント用台紙に多数のプリント像をならべてプリントさせる指令をコンピュータを用いて送って行なうことが出来る。

【００４５】

このコンピュータを用いた方法においては、予めコンピュータの画像記憶装置に多数種の前述の形象を表す画像や文字を画像情報として記憶させておき、その記憶された画像情報のうちから、製作すべき数珠に応じて定められた１種又は複数種の画像情報を選択する指令を、コンピュータの選択指令入力端末から入力し、ソフトウエアによりこの指令に基づきその記憶された画像情報のうちから選択された画像情報を電子的に制御されるプリンタに送って、一枚のプリント用台紙４０に、選択されたプリント像４２を同時にプリントしたのち、個々のプリント像４２を切り取って表示層とすることが更に能率的である。これにより、製作すべき数珠が多品種少量であっても、数珠に相応しい画像情報を効率よく選択して表示層を能率的に製作出来る。

【００４６】

このプリンタには、その１種又は複数種の画像情報を１組とする画像群を指定された組数分プリントする組数指令をコンピュータの組数指定用入力端末を介してソフトウエアによりコンピュータから送り、この組数指令により画像や文字が指定された組数分プリントされることが好ましい。

【００４７】

表示層８に表示される形象としては特に限定されないが、形象が仏や高僧の像や、由緒ある紋や、教義を表す文字等の宗教的なものや道徳的なものであることが好ましい。

【００４８】

図１２に示すように、本発明の数珠玉様塊状物は、親珠３６のみならず子珠３２にも適用される。多数の子珠に、それぞれ異なりかつ相互に関連する形象の表示層８を配することもできる。例えば、高僧のグループから個々の高僧の像をそれぞれ図１の表示層８に表示し、これらを子珠３２にそれぞれ配して数珠３０を作ることができる。又、南無阿弥陀仏の６文字をそれぞれ別の表示層８に表示し、これらを子珠にそれぞれ配して数珠を作るこ

とができる。このように子珠にも本発明の数珠玉様塊状物を適用することにより、数珠の宗教的価値を更に高めることが出来る。子珠には、注文に応じて購入者にゆかりの名前や戒名などが記された表示層を配することもできる。名前や戒名などを構成する個々の文字をそれぞれ別の表示層８に表示し、これらを子珠に順にそれぞれ配して数珠を作ることができる。このように、複数の子珠に、それぞれに異なりかつ関連する形象の表示層８を配することにより数珠の宗教的価値を又更に高めることが出来る。なお、子珠３２にあっては、分岐枝孔１２ａは必要でない。

【００４９】

本発明の数珠玉様塊状物は、数珠の他に、穿孔を有する複数の塊状の粒体がその穿孔に通された紐で連結されてなり、ストラップや、ブレスレットや、その他の装飾物や、ある思想や教義を象徴する材として用いられる可撓性長尺物にも好適に適用される。この場合、表示層８に記録される像や記号や文字はその可撓性長尺物の使用目的に応じて適宜選択される。本発明においては、いずれの場合においても、表示層８に記録された像や記号や文字はその可撓性長尺物の使用目的に相応しいすぐれた表示効果を有する。

【００５０】

以上本発明の数珠玉様塊状物及び数珠の態様を説明したが、本発明はその趣旨を逸脱しない範囲で、当業者の知識に基づき種々の改良、修正、変形を加えた態様で実施し得るものであり、これらの態様はいずれも本発明の範囲に属するものである。

【００５１】

例えば、図１３に示すように、レンズ体６ｅの周面に設けられた微小突起２３が基体４ｅの有底孔１０ｅの周面の微小凹部２３ａに係合してレンズ体６ｅが有底孔１０ｅに確実に係止されるようにしてもよい。

【００５２】

【発明の効果】

本発明の数珠玉様塊状物は、宗教的な表示層を内蔵し、その表示層の表示面を透明体越しに有意義なあるいは宗教的な奥床しい雰囲気を有する像として観視可能である。

【００５３】

本発明の数珠玉様塊状物は、表示層が交換可能とされ交換により多様な有意義なあるいは宗教的雰囲気を味わうことが出来る。

【００５４】

本発明の数珠は、宗教的な表示層を内蔵し、その表示層の表示面を透明体越しに有意義なあるいは宗教的な奥床しい雰囲気を有する像として観視可能な数珠玉様塊状物を備え、有意義なあるいは深い宗教的雰囲気を味わうことが出来る。

【図面の簡単な説明】

【図１】本発明の数珠玉様塊状物の構成を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）、側面図（ｂ）に対応する断面図（ｃ）である。

【図２】本発明の数珠玉様塊状物に用いられるレンズ体の構成の一例を示す平面図（ａ）、正面図（ｂ）である。

【図３】図３（ａ）は本発明の他の態様の一例における数珠玉様塊状物の構成を示す断面図である。図３（ｂ）は本発明の更に他の態様における数珠玉様塊状物の構成を示す断面図である。図３（ｃ）は本発明の別の態様における数珠玉様塊状物の構成を示す断面図である。図３（ｄ）は本発明の更に別の態様における数珠玉様塊状物の構成を示す断面図である。図３（ｅ）は本発明の又更に別の態様における数珠玉様塊状物の構成を示す断面図である。

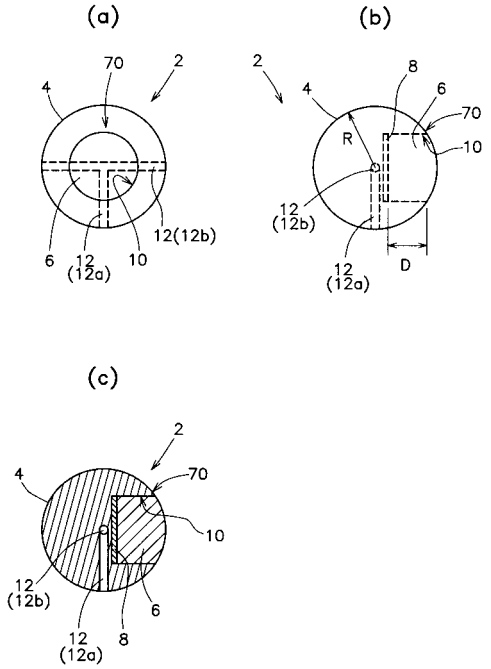
【図４】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図１に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。

【図５】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図４に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。

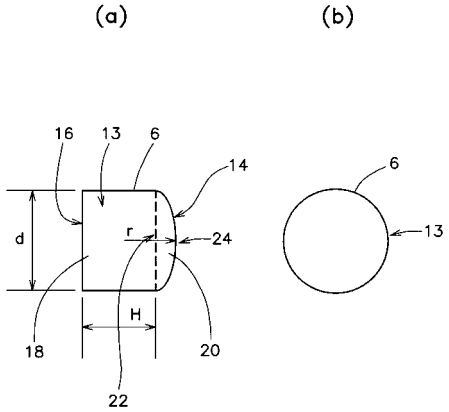
【図６】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図５に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。

【図７】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図７に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。
【図８】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図７に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。
【図９】本発明の数珠玉様塊状物に用いる基体の図８に示す態様とは異なる態様の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）である。
【図１０】本発明の数珠玉様塊状物の図１に示す態様とは異なる構成の一例を示す正面図（ａ）、側面図（ｂ）、側面図（ｂ）に対応する断面図（ｃ）である。
【図１１】本発明の数珠玉様塊状物に用いられる表示層の製造のためのプリントされたプリント台紙の状態を示す模式図である。
【図１２】本発明の数珠の構成の一例を示す模式図である。
【図１３】本発明におけるレンズ体が有底孔に装着される態様の一例を示す説明図である。
【図１４】従来の数珠の構成を示す模式図である。
【符号の説明】
２、２ａ、２ｂ、２ｆ：数珠玉様塊状物
４：基体
６：レンズ体
８：表示層
１０：有底孔
１２：分岐孔
１２ｂ：連結紐用孔
１８：円柱部
２０：凸レンズ部
７０：曲面部

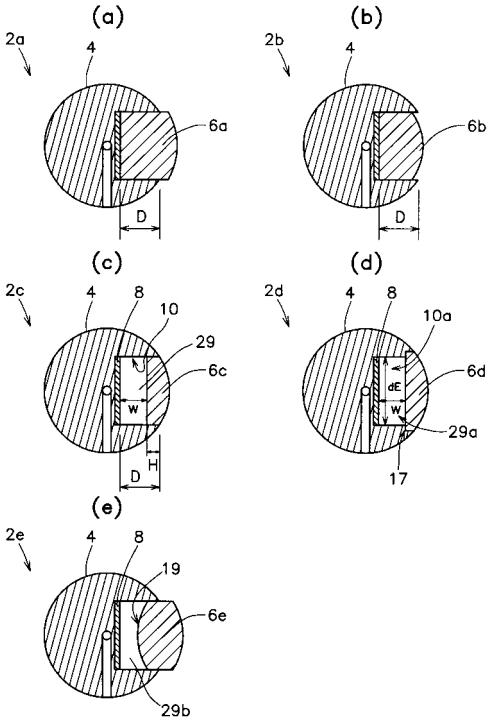
【図１】



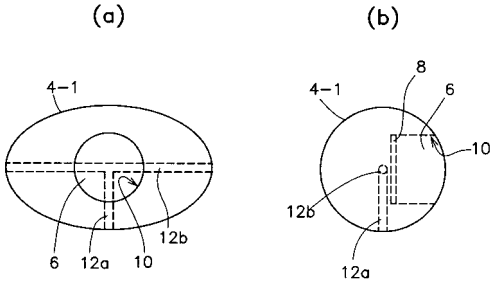
【図２】



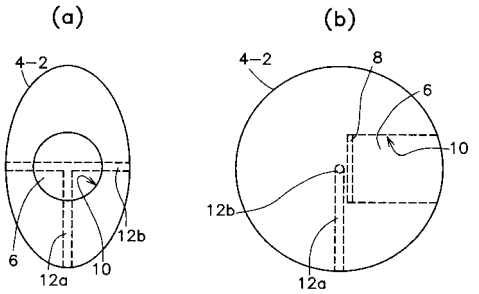
【図３】



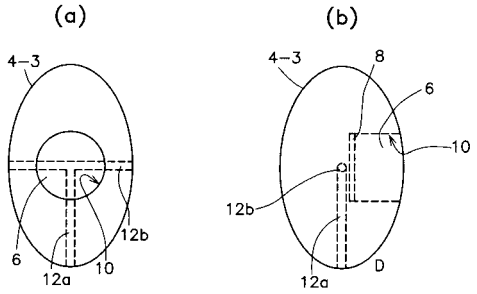
【図４】



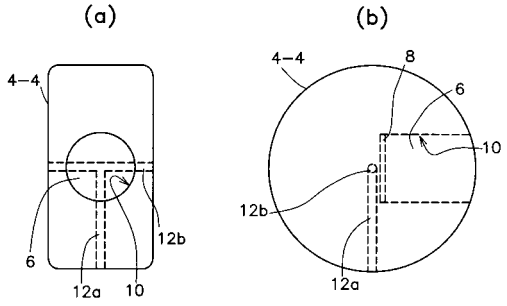
【図５】



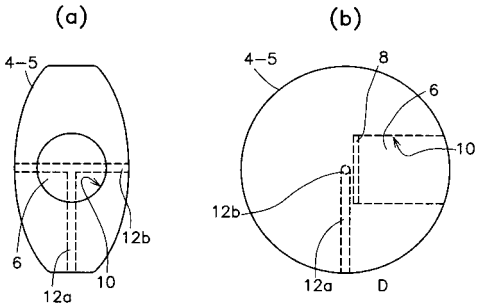
【図６】



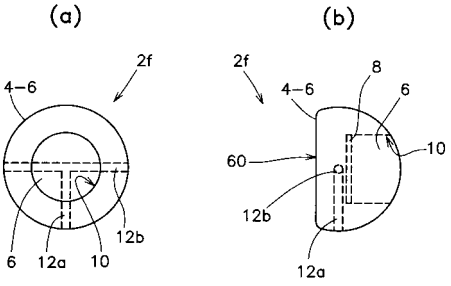
【図７】



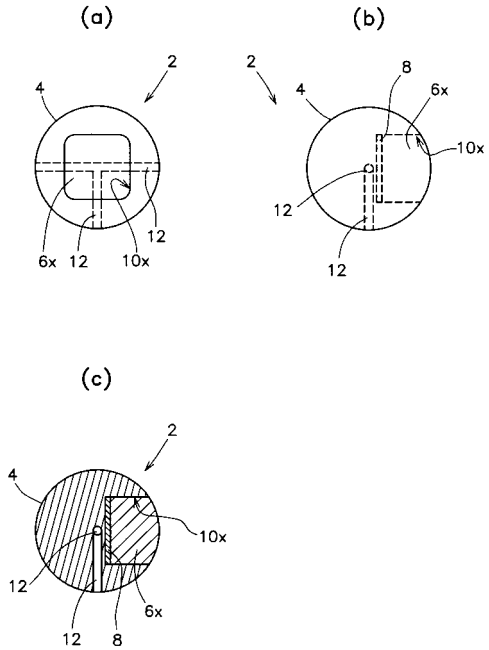
【図８】



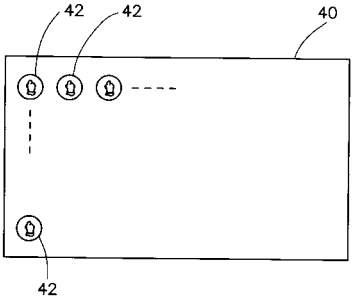
【図９】



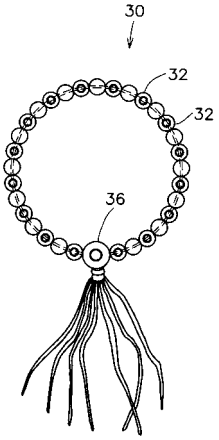
【図１０】



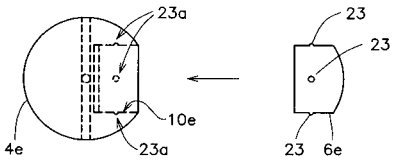
【図１１】



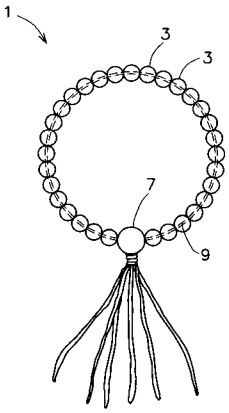
【図１２】



【図１３】



【図１４】



フロントページの続き

【要約の続き】
【選択図】　図１